青 空 通 信

NPO 法人　ウェルコミュニティ飛騨　青空作業所
高山市山口町 1297－1　　0577-35-1559
http://welcomhida.web.fc2.com/
平成 26 年 4 月 16 日発行　第 22 号

理事長挨拶

ここ高山にもやっと遅い春が訪れ、桜の花も満開の頃となりました。B型事業所には三月より高等部を卒業した新メンバーも加わり、移行事業所には高山市障がい者雇用創出事業の修了者が加わり、作業所全体として活気ある新年度をスタートいたしました。

本年度の新たな取り組みとして、余暇活動に力を入れていきたいと考えています。働くことと余暇の過ごし方は密接な関係にあり、どちらのウエートが大きくなっても就労継続が難しくなってきます。バランス良く働き、余暇を過ごすことが職業生活を充実させます。故に就労支援において余暇活動支援も重要であると考えています。

青空作業所では、仕事と余暇のメリハリを付けたいことから、平日はしっかり働き、土曜日に余暇活動を行います。内容はスタッフが決めるのではなく、メンバーの希望を聞きながら活動していきたいと思います。自主的にクラブ活動が出来るようになれば、なお素晴らしいと思います。

余暇活動の名称は「なかまして」です。私はあるメンバーから初めてこの言葉を聞いたとき、すてきな言葉だと感じました。自ら仲間にとけ込もうとする姿勢とそれを受け入れる仲間の優しさがこの言葉には含まれていると思います。

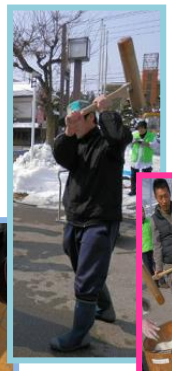
余暇活動「なかまして」を通して、働く喜びと生活の楽しさを感じていきたいと思います。この活動には関係の皆様のご協力が不可欠です。何卒、ご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

理事長　柏木　真司

最近の活動報告

餅つき大会　2月20日

**毎年恒例の餅つき大会に行ってきました。
つきたてのお餅はとっても美味しかったです。
寒い中、協力してくださった皆さん本当に
ありがとうございました。
たくさんあったお餅もみんなで食べるとあっ
という間になくなりました!!
実際に餅つきに挑戦するメンバーさんも…。
とっても良い笑顔が見られました。**



お茶会♪　2月24日

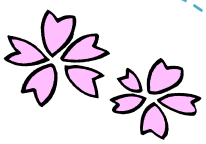
この日は少し早めに作業を終わらせて、みんなでお茶会をしました。
コーヒーを飲みながら、お菓子を食べてみんなでおしゃべりしました。
普段みんなでゆっくり話す機会もなかなかないので、お話しながらゆっくり過ごしました。

食事会　みんなでランチ♪

3月19日

みんなで魚祭にランチに行ってきました♪
天ぷらやお刺身、ポークシチューなど満足ランチでした。
いつもと違った場所で食べるご飯も良いものですね。
またみんなでランチに行きたいですね！

編集後記



少しずつ暖かくなり、春らしくなってきました。
まだ朝夕は寒い日もありますので、体調に気をつけてお過ごしください。

今年度よりウェルコミュニティ飛騨は非課税事業所から課税事業所となりました。
そのため、ウェルで作成している自主生産品も消費税がかかります。
少し値段はあがりますが、メンバーさん一人一人心を込めて作っていきますので、今後も宜しくお願いいたします。

ウェルで制作しているコースターが今とても売れています!!
コースターの色合いもメンバーさんそれぞれの個性が出ていて、とっても素敵なものが出来上がります。最近は1度に10枚まとめて買ってくださるお客様もみえて、とても嬉しく思っています。皆さんもどこかで見かけたら、ぜひ1度手にとってご覧になってください。

就労移行支援事業

平成 25 年 11 月 1 日より、ウェルコミュニティ飛騨にて、新たに就労移行支援事業をスタートしてから６ヵ月が経ちました。スタート時は４名だった訓練生も９名になり、賑やかになりました。施設外就労を含めて色んな仕事も増えました。

既に就職により卒業した訓練生もいますが、それぞれが目標に向けて頑張っています。

施設外就労

高山市郊外にて農業の訓練をさせて頂いています。自然がたくさんある場所で体を動かしています。

日を重ねる事に、訓練生一人ひとりの働く意識が高くなり、作業場まで時間の無駄がないように走る姿や、周りの動きを見て働けるようになりました。

また体力面でも、最初は息が上がったりバテやすかった方も、体力が少しずつ付いてきました。

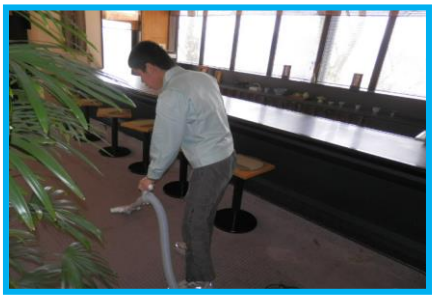
３月から高山市内に設置してある銀行のＡＴＭを回り、外回りや室内の清掃をしています。

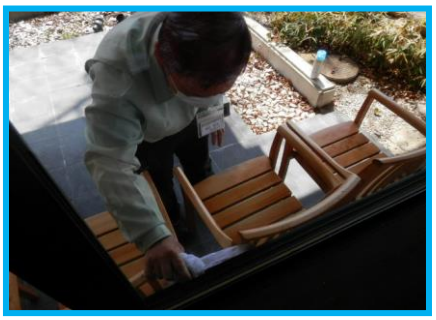
掃き掃除、拭き掃除、封筒の補充などを行っています。

お客様が来店されると、訓練生は緊張の面持ちですが、挨拶や会釈を行い、作業を一時中断して、外で待ちます。
笑顔がまだ硬い訓練生もいますが、これから接客も慣れていって欲しいと思います。

高山市内の宿泊施設に清掃のお仕事に行かせて頂き、２カ月が経ちます。

訪れたお客様に気持ち良く過ごして頂けるよう、心をこめて、清掃させて頂いています。





普段、作業所で行っている清掃との違いを痛感しています。

清掃の仕方や道具の使い方など、皆で確認し合いながら作業を行っています。

訓練生からは「こうしたらどうか？」などよりよい作業方法の案が積極的に出され、仕事に対する意識が高くなりました。

卒業生インタビュー

ウェルコミュニティ飛騨の卒業生で、現在、高山信用金庫　事務管理課　事務センターにて勤務されている田口直樹さんにお話を伺いました。

田口さんはウェルコミュニティにて作業訓練を行いながら、事務職への就職を目標とし、そのための技術や知識をつけようと障がい者職業能力開発校にて学ぶことを決めました。デザイン科に入学し、パソコンの基礎知識をはじめとして、文章のレイアウトや印刷の仕方などを学び、得意な授業ではクラスメイトに教えられるようにまでなったとのことです。『パソコンに関してはその辺の人には負けない！！』と笑顔で話してくれました。また、能力開発校に行く前は、人見知りもあり、人と話すことに緊張することが多かったとのことですが、卒業してからは自分から積極的に話すことも増え、対人関係を築く上での緊張も少なくなったそうです。寮生活を送っていたこともあり、自立した暮らしができるようになったとも話してくれました。能力開発校での学びは、現在の田口さんの生活や仕事に大きく活かされています。

現在は、高山信用金庫に勤務し、目標であった事務職で自分の知識を活かし、日々奮闘されています。就職活動への臨みかたも田口さんの夢の実現に大きく影響しているようです。田口さんは、『就職活動を行うときは、待っているだけではなくて自分から積極的に動くことが大事。そして自分の考えなども自信を持って伝えたほうが、その後の自分に良いものが返ってきます』と話してくれました。夢の実現のためには、自分から勇気を出して行動すること、自分の目標を明確に持ちそれに向けて動くことの大切さを教えてくれました。

田口さんの次の目標は、正社員登用試験に合格することだそうです。金融機関独特の言葉が飛び交う中での業務に、『もっと自分も勉強したい！』と思うようになったことがきっかけとのことです。そして、いずれはみんなを引っぱっていけるような存在になりたいとの目標も掲げられています。田口さんは、いくつもの目標を達成させながら“胸を張って生きていきたい！”と話してくれました。

そして田口さんから、就職を希望している人へのメッセージをいただきました。

『自分の可能性を自分で決めないでください。どんな人でもやる気になれば何だってできます。障がいがあるからといって諦めることは違うと思います。諦めないでください！』

自分の実体験をもとに、私たちの質問に自信を持って堂々と答えてくださった田口さんはとても輝いて見えました。次なる目標に向かって頑張って下さい。いつも応援しています。

続いて、同じく訓練校への進学を経て、就職を決めた荒川春香さんにインタビューしました。

荒川さんはウェルコミュニティ飛騨青空作業所にて約１年間訓練をし、その後自分の就職の可能性を広げたいと障がい者職業能力開発校への挑戦を決めました。能力開発校への入学当初は人見知りの性格だったため、クラスメイトと話すことにも緊張し、苦労をしたそうです。しかし、次第に信頼できる友達とも巡り合うことができたことから良い人間関係を作れるようになりました。また能力開発校では勉強は大変でしたが、様々な資格を取得し、自分にとってプラスになったことが数多くあったと話してくれました。荒川さんにとっての一番大きな変化は、大切な仲間と出会えたことにより以前よりコミュニケーションを積極的に取ることができるようになったことです。それは自分にとって宝物だと笑顔で話してくれました。

荒川さんはこの春から中部電力にて勤務を開始します。中部電力に挑戦をしようと決めてから、採用面接の日までの期間が短かったため準備が十分にできなかったとのことです。そのような中でも「挨拶をきちんとすること」、「語尾まではっきり言うこと」などには意識して面接に臨まれたそうです。緊張の面接を終えて、採用の通知が届いたときには嬉しさと驚きと“自分にできるのかな･･･”という不安が入り混じった複雑な気持ちだったそうです。ここにくるまでに自分のことを心配して支えてくれた親や周囲の人に恩返しができるように頑張りたいと自信に満ちた表情で話してくれました。

最後に就職を目指している人へメッセージをいただきました。

『障がいがあると就職に挑戦することを諦めてしまうかもしれないけれど、最後まで諦めないで夢を叶えてください』

高山から離れた地での勤務、寮生活など不安なことは多いと思いますが、ウェルに初めて来たときの荒川さんとは別人のように今は自信と希望で満ち溢れています。荒川さんのその素敵な笑顔で、社会人として堂々と前に進んでいってください。

二人からお話を聞くなかで、いろいろな経験をしながら自信をつけていくこと、諦めずに夢を追い続けることの大切さを教えて頂きました。二人とも不安を抱えながらのスタートでしたが、今はすごく堂々と輝いています。このようにウェルからの卒業生が自分の夢や目標に向かって頑張っている姿を励みに、私たちは日々皆さんの夢の実現に向けてともに取り組んでいきたいと強く感じました。